

- 日本無線、二輪車用ETC2.0車載器「JRM-21」について、ETCレーンを通過時にバーが開かない恐れがあるとしてリコール  
18年2月8日～5月11日出荷分の5845台  
二輪車用ETC2.0車載器のカバーの成形が不適切で、ETCカードの端子部と車載器の通信部が接触する圧力が不足。カードを認識できず、ETCレーンを通過時にETCバーが開かない恐れがある。
- いすゞ自動車と日野自動車、「いすゞガーラ」「日野セレガ」の排出ガス飛散防止装置（NOxセンサー）に不具合があるとしてリコール  
17年7月18日～19年4月5日に生産した413台  
大型観光バスの排出ガス飛散防止装置にて、NOxセンサ用配線の接続指示が不適切な為、触媒前後の配線が逆接続されている。その為、排出ガス飛散防止装置が正しく作動せず、排出ガスが保安基準を満足しない恐れがある。
- ボルボ・カー・ジャパン、「V40」等計8車種について、排出ガス基準を満たさない恐れがあるとしてリコール  
15年6月16日～19年2月6日に輸入した2万0510台  
エンジンコントロールモジュールのプログラムが不適切な為、酸素センサーに煤が堆積することがある。その為、酸素センサーの応答時間が長くなり、エンジンの警告灯が点灯して、排出ガスが基準を満足しなくなる恐れがある。
- 日産自動車、「エルグランド」「ムラーノ」のブレーキに不具合があるとしてリコール 08年9月1日～15年7月23日に生産した9万0222台  
ABSアクチュエータについて、指定以外など、性質が不安定なブレーキ液への耐性が不足している為、バルブ表面の亜鉛メッキにグル状物質が生成され、バルブの摺動性が悪化する場合がある。その為、バルブが正常に閉じない場合、液圧が低下してブレーキペダル操作時にペダルストロークが深くなり、制動距離が長くなる恐れがある。
- トヨタ自動車、「ヴィッツ」の助手席側後席ドアガラスに不具合があるとしてリコール 19年1月22日～同年2月7日に生産した2169台  
助手席側後席ドアガラスにおいて、生産設備のプログラムが不適切な為、冷却不良となり、ガラスの破碎要件を満たしていないものがある。その為、ガラスが損傷した場合、破片が粉々にならず、保安基準第29条（窓ガラスの基準）に抵触する恐れがある。
- フォルクスワーゲングループジャパン、「ザ・ビートル」のブレーキ警告灯に不具合があるとしてリコール 18年10月18日～19年3月23日に輸入した1601台  
コンビネーションメーターの制御プログラムが不適切な為、ブレーキシステムに異常が発生した場合、警告灯が作動せず、不具合を検知できない恐れがある。

## G20 サミット開催時の交通規制による配送への影響について

既にご存じの通り、2019年6月28日（金）～29日（土）に大阪市内にてG20 サミットが開催されますが、これに伴い前後の1日を含めた同年6月27日（木）～30日（日）は、大阪府内の高速道路や一般道で、早朝～深夜までの大規模かつ長時間の交通規制が予定されております。

その為、交通規制期間中の当社からの配送に大幅な遅延が発生するものと予想され、それまでの間、仕入先等の情報を収集し、対策を練っていくつもりではありますが、納期や時間指定などのご希望に添えない場合が出てくる可能性があります。当日は、ご不便をお掛けいたしますが、何卒ご理解の程、宜しく願いいたします。